



ワイン電車、
4/18 テレビせとうち
「アドマチック天国」で紹介！
かも？

2009/ 4

～酒と遊びと公共交通

■春はお花見。やうやう紅くなり
ゆく我顔すこし火照りて、杯止まら
ず果ては大いびきかきたる…。

なんて冗談も出てくるようなウキウキ
する季節となりました。お花見は古来
より伝わる日本を代表するお遊びでは
ないでしょうか。岡山市内でも数多く
のお花見スポットがあります。ただ市
内を代表するというお花見スポットで
も、「旭川さくら道」や「半田山植物
園」のように公共交通機関が整備され、
便利なスポットもあれば、足守の「近
水園周辺」や「たけべの森」などのよ
うに自家用車を利用しなければ不便な
スポットもあります。

■青い空と薄桃色の桜の下でお弁当。
こんな開放的なシチュエーションでは、
「なんだか、お酒が飲みたくなる～♪」
というのはつきものです。でもそこで
気をつけていただきたいのが飲酒運転。
近年多くの企業や団体で飲酒運転撲滅
運動を行っています。年々活発になっ
てきてはいますが、最終的には個々の
意識に頼るだけでなく、飲酒運転をさ
せない・する必要のない環境整備も必
要ではないでしょうか。「公共交通機
関が不便又は廃止されたから、車を使
わざるを得ない」という地域が日本で



は増加の傾向にあります。勿論日常生
活での移動手段は自家用車で、飲酒を
する際は運転しなければ特に問題がな
いかもかもしれません。でも自家用車を使
う割合が高くなればなる程、交通事故
発生率が高くなるという問題がありま
す。つまり飲酒運転や交通事故という
社会問題を解決するには、公共交通機
関の整備が絶対不可欠だという事です。

■しかし今日の社会では公共交通整備
事業には費用がかかるという理由等で、
大都市を除いてはあまり積極的に取り
組まれていません。でも本当に費用が
かかる事業なのでしょうか。鉄道空白
地帯に新規に高架の線路を敷くとか、
トンネルを掘るなどとなると確かに莫
大な費用を要するでしょう。しかし現
存する鉄道・路線バス・タクシー、さ
らに代行サービスなども含めた公共交
通を効果的に連携させることを目指し

て既存施設の改良・拡充を中心とした
インフラ整備事業を行うのであれば、
それ程莫大な費用は要しないと思いま
す。そもそも公共交通機関が整備され
る事は無駄な事業ではありません。生
活の足が確保され、飲酒運転や交通事
故を減少させるという施策は、誰もが
望む大切な事業ではないでしょうか。

■「飲んだら乗るな」と言うのが常識
の中、「飲むなら“ぜひ”乗ろう」と
いう乗り物があります。それが昨年か
RACDAがMOMO電車でやっている
ワイン電車&ピアガー電です(この部
分はちょっと宣伝)。MOMOのワイ
ン電車&ピアガー電のような「お電車
遊び」が全国に広がり、お花見のよう
な日本を代表するお遊びとなる日を夢
見ながら・・・春の午後、うとうと夢
見心地。 [文：安藤 亮]